

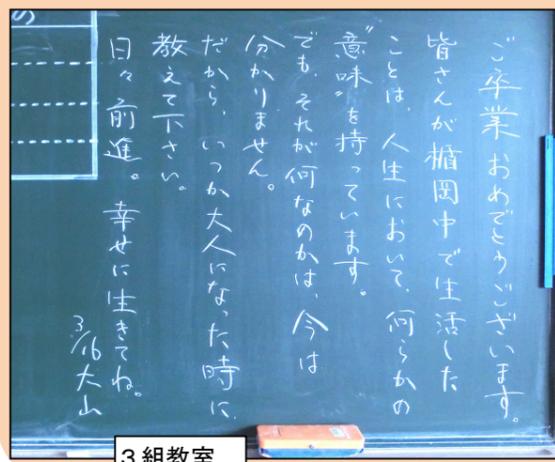
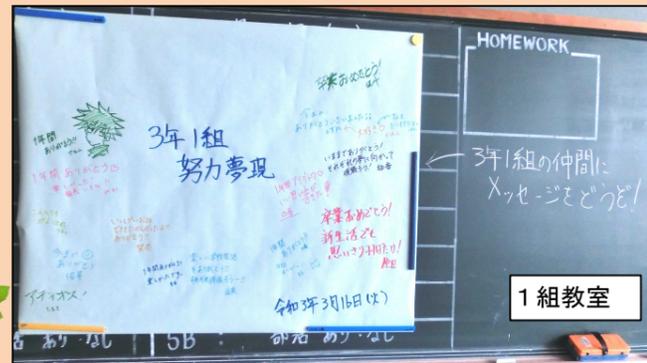
旅立ちの後



今日の日程

3年	3月16日(火)	卒業証書授与式
1組	10:00	卒業証書授与式
2組	11:00	卒業証書授与式
3組	12:00	最後の学活
4組	13:00	最後の学活
5組	14:00	最後の学活

1/29月曜任式
8:05登校
10:00下校(SB10:00-10:30)
※費バックと筆記用紙
※アルムナヒ配布



楯岡中通信

村山市立楯岡中学校
第12号
卒業証書授与式特集号
令和3年3月29日(月)



第16回 卒業証書授与式 3月16日(火)

笹原 聡 校長の式辞より (一部抜粋)

「可能性を求め、
ていねいに生活する」

128名の三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。諸君の門出にあたり、これからの時代を力強く生きぬくためのはなむけとして、さらに「開花」するための言葉を贈りたいと思います。それは、「できない理由を探すより、できる可能性を考えること」です。これは、今年度のコロナから私自身が学んだことでもあります。物事のできない理由を探すことは簡単です。しかし、そこからは停滞や衰退しか生まれません。先に進むためには、物事を可能にする方法を考え出すことが、大事だと思うのです。そして、やってみること。ただし、それは、労力のかかることであり、大変なことです。しかし、「無理だ」と思う思考よりも、「どうしたらできるだろう」と前向きに考える姿勢を持ってもらいたいと思うのです。そうすることで、皆さんの「花」は、より大きく咲き開くと思うのです。

人は、一人一人違います。顔つきや体つきも考え方も違います。それは当たり前なこと、そして、その違いはとても大事にしなければならないことだと思っています。自分とは違う人のことも認め、自分自身を常に見つめ、よりよい自分を目指し、磨き続けてください。そして、胸を張って、自分らしさを自分らしく表現してほしいと願っています。この一年、私は、諸君に「ていねいに生活する」ことを話してきました。「ていねいに生活する」とは、「自分自身を大事にする」ということなのです。

128名の諸君が、楯岡中の卒業生として「学び、響き、琢き」続け、自分らしい素敵な人生を、力強く「開花」できますよう、幸多からんことを心より祈念し、式辞といたします。



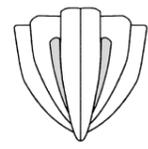
村山市立楯岡中学校同窓会入会式 3/12(金)
同窓会長 松岡茂映 様、同副会長 里村 学 様、齊藤哲郎 様のご臨席のもと、卒業生の同窓会入会式が行われました。卒業生の皆さん、これからは同窓会員として母校への支援をよろしくお願ひします。

ありがとうございます
卒業学年より、卒業記念品として折りたたみデラックス Tent 2張りを寄贈していただきました。運動会などの行事で大事に使わせていただきます。ありがとうございました。

- お世話になりました。離任者を紹介します**
- | | | |
|----|-------|---------------------------|
| 教頭 | 今野 栄治 | 校長として尾花沢市立福原中学校へ |
| 教諭 | 阿部 公紀 | ご退職
(再任用 尾花沢市立尾花沢中学校へ) |
| 教諭 | 横尾あゆみ | 東根市立第一中学校へ |
| 教諭 | 木原 潤基 | 山形市立第四中学校へ |
| 教諭 | 丸子 尚志 | 東根市立第一中学校へ |
| 教諭 | 三浦 忠好 | ご退職 |
| 教諭 | 西村 俊也 | 村山市立大久保小学校へ |
| 講師 | 結城 吉夫 | 山形県立新庄養護学校 本採用 |
| 講師 | 菅野 枝里 | 河北町立河北中学校 本採用 |
| 司書 | 高橋 宏子 | 村山市立葉山中学校へ |

楯中点描
128名の卒業生が旅立ちました。自分らしく大きく羽ばたかんとことを祈っております。保護者の皆様には、本校へのご理解とご協力、誠にありがとうございました。地域の皆様もこの一年、本当にありがとうございました。4月8日には、新1年生が入学します。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

文責：校長 笹原 聡



卒業おめでとう

卒業式ピンナップ



保護者の皆様が見守る中、128名の卒業証書授与が厳かに行われました。担任が呼名し、校長が証書を手渡しました。卒業生はしっかりと校長の目を見、力強く証書を受け取りました。

卒業生による最後の校歌合唱の指揮は、もちろん、音楽科主任で第3学年主任の伊藤教諭です。卒業生の力強い校歌が体育館中に響き渡りました。

卒業生の未来に心よりエールを贈ります。



答辞(全文) 卒業生代表 齊藤弘訓さん

近年まれにみる大雪に覆われたこの村山にも、おだやかな陽ざしとやわらかな風が、春を運んでくれました。この良き日に、私たち128名は、多くの先生方と保護者の皆様から見守っていただきながら、新たな日々へと旅立ちます。

新型コロナウイルスの影響で、私たち3年生は、苦しいスタートを余儀なくされました。集大成の場である地区総体や各種コンクールの中止。規模が縮小された行事。心のどこかで制限をかけてしまう、日々の授業や友達との会話……。やるせない日々が続きました。それでも私たちは、いつでも前を向き、今日まで一歩ずつ進んできました。

春の生徒総会では、一堂に会せなくても、全校生の意見を集めたり意思疎通を図ったりするための方法を考え、実行し、成功を収めました。秋の運動会では、全力と全力がぶつかり合い、両軍が燃えました。あの日の熱い地鳴りが、今も私の耳に残っています。また、運動会を無事に開催するために自分たちで徹底し合った感染症対策も、忘れられません。さらに、文化祭では、それぞれが個性を發揮し、全クラスが最優秀賞に向けて一丸となりました。

このように、3年生が学校のリーダーとして活躍し、ここまで歩んでこられたのは、私たち一人ひとりの結束が強かったからだと思います。勇気を出して自分が持っている意見を言い合い、時には傷つきながらも、共に磨き合ったことで、自分たちの輝きを生み出すことができました。お互いの結び付きを最も強く感じられたのは、長く苦しい受験生活をしている時でした。誰かが誰かのためを思って行動している仲間たちの姿を見て、自然と勇気が湧いてきました。友達が掛けてくれる言葉は、まるでお守りのように温かく、心強かったです。私たちは、例年以上に「つながりの強い学年」でした。特別な時間を今までのどの学年よりも共有し、その分、自分たちだけに分かり合えるものがありました。その分の笑いがあり、涙があり、喜びがあったのです。どんな逆境に立たされ、どんな困難にぶつかろうとも、それを乗り越えられるだけの底力を、私たちは持っています。それが私たちの誇りであり、夢へ向かう大きな糧となったはずです。これからも私たちは、自分たちの未来を開花させられるよう、この楯岡中学校で学んだことを胸に刻んで、それぞれの道を進んでいきます。

最後になりますが、ここまで私たちを信じ、ついてきてくれ1・2年生の皆さん。私たちがまいた種を成長させて、いつか自分たちにとっての満開の花を咲かせてください。私たちを見放さず、最後まで寄り添ってくださった先生方。諦めそうになったとき、私たちの心に火を灯した数々のお言葉を、ずっと忘れません。そして、お父さん・お母さん。こんな私たちの、一番の応援者で、くじけそうになったときも、いつもいつもそばで支えてくれました。誰よりも自分たちのことを理解してくれたその姿は、私たちの目標です。どうかこれからも、ずっと見守っていてください。

この学び舎には、大切な仲間、先輩後輩、人生の師、その全てがありました。たくさんの経験と思いを、たくさんの幸せを、本当にありがとうございました。私たち128名は、これからの人生、自分らしく、いつでも「今」を誇れる人間になっていくことを約束し、別れの言葉といたします。



卒業証書授与



送辞(一部抜粋) 在校生代表 2年 古原麻悠さん

どのような状況であっても、妥協するのではなく、できることに目を向けて進み続けることの大切さを学びました。そして何より、いつも楽しそうに活動する皆さんの姿が強く印象に残っています。そして、文化祭当日。やりきったという達成感、会場全体を包んだ温かな空気……。あの感動の瞬間瞬間を、私は決して忘れません。



卒業生退場



「友 ~旅立ちの時~」

式終了後、卒業生による旅立ちの合唱が披露されました。卒業証書を持つての演奏です。指揮は松倉翔汰郎さん、伴奏は武田奏音さん。

友 さようなら そしてありがとう再び会えるその時まで
友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いてる
同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている



最後の学級活動風景より



3年担任団 「卒業おめでとう！」